

住宅リフォーム助成 開始 昨年6月から

今年度は24軒が申込み 総額190万円の補助

滝田・田中両議員は、快適な暮らしと地元の仕事を増やすため、リフォーム助成制度を提案してきました。いよいよ昨年から始まりしました。30万円以上のリフォームで、修繕やバリアフリーなどが補助の対象です。大船渡地域商品券で交付されます。施工前の申請が必要です。

- ①機能維持工事→10%以内 上限5万円
 - ②機能向上工事→20%以内 上限10万円
 - ③空家バンク活用→15万円加算
- ※①と②をあわせた工事は上限10万円
★今年度は終了です。来年度に申請を。

3～5歳の保育料 無償化 昨年10月から

子育て支援として強く求めてきた保育料のうち、利用料は国の制度によって無償化となり、副食費分は市が負担します。

0～2歳児は非課税世帯は無償ですが、多くは現在の保育料のままとなり、今後の課題となっています。



大規模太陽光 発電所計画

住民説明と住民合意を つよく求めました

太陽光発電は自然エネルギーですが、大規模な森林開発を伴うことから、民間事業者任せではなく、市の責任による住民説明会の開催をつよく求めてきました。

また、住民合意のないままの事業実施をしないことも強く求めてきました。

今後も計画の中止を求め、住民の皆さんとの共同を大切にしていきます。



日本共産党

市民要求—市長にも直接訴え、議会でも取り上げて

滝田・田中議員の活動報告

安全・安心な まちづくりを

津波災害、土砂災害などの災害に強いまちづくりを進めることを提案してきました。

防災対策・防災教育にしっかり取り組むことや大震災の教訓をしっかり後世に伝えることを市長に要望しています。

来年度は、豪雨防災訓練を実施予定としています。また、東日本大震災復興記録誌を作成中とのことでした。

河川の氾濫対策として、護岸や堤防などの施設整備のほか、土砂のしゅんせつや樹木の伐採などが有効とされています。越喜来の浦浜川や盛川においても、同様のしゅんせつや伐採をしているとのことでした。

今年も福祉灯油

高齢者や非課税世帯等 2,800世帯へ 地域商品券で交付

今年の福祉灯油。約1,260万円で予算化され、灯油購入費用などとして地域商品券で交付されます。約2,800世帯が対象となり、1月末頃から交付申請の受付が始まっています。県の補助などを財源としています。

日本共産党は、市議と県議と連携し、震災以来9年間、心もあたたまる制度の継続を実現しています。

医療費・ 介護利用料免除

今年も継続されました

被災世帯の国保・後期高齢者の医療費と介護利用料の免除が今年も継続されました。市では今年も国県の財政支援を活用して実施します。

滝田・田中の両議員は、免除継続を提案してきました。

■財源 国8割、県1割、市1割



台風19号被害への義援金50万円 大船渡市へ届けました

全国から日本共産党中央委員会へ寄せられた募金から、台風19号で被害のあった大船渡市に義援金として50万円を届けました。12月25日、滝田・田中の両議員が戸田市長に手渡しました。

【写真】義援金（目録）を戸田市長に手渡し、田中議員と滝田議員

